

和歌山県納税貯蓄組合総連合会会長賞



税のあり方

和歌山県立古佐田丘中学校 三年 宮本 桜花

「税金の無駄遣いやん」

私は大阪・関西万博2025が開催されると聞いてすぐに批判的な言葉がでてきました。開催が発表されたとき、世間でも多額の建築費や、運営費を目にしたたくさんの人が「税金の無駄遣いだ」などの批判的な意見をネット上やテレビ上で発信していました。私や私の家族も当初は開催に反対していました。それから数年後、万博が開催されると、たくさんの人が万博に訪れる様子がテレビで放送されるようになりました。私が通う学校でも春の校外学習に大阪・関西万博に行くことになりました。それまで批判的な意見を持っていた私でしたが、先生の「批判的な意見があるけど、行ってみないとわからない」という言葉を聞いて、自分の目で確かめよう、と思うようになりました。

当日になり、万博で最初に見たのは、大量の人の流れでした。テレビで見たとき間近で、外国の人たちもたくさんいるように感じました。ネット上で、いくつかの国が参加を辞退したという話を聞いたので、少し驚きながらいざ中に入ると、いろいろなパビリオンやオブジェがあり、たくさん情報で溢れていました。それからの自由時間は今までの批判的な意見を忘れて、たくさんパビリオンや大屋根リングなどを満喫することができ、自分の目で万博について確かめることができました。

私が確かめられたことは、税金は年金や教育のためだけではなく、私たちがこれからの未来でよりよい生活をするためでもあるのではないかということです。私は今回、万博に行ったことで世界各国との繋がりが未来の様子などいろいろなことが学べました。また、日本や世界の未来のために何ができるか考えることもできました。現在、日本のみならず世界各地で戦争や地球温暖化、生物の絶滅危機などいろいろな問題が起きています。それらの問題を解決するために万博のような活動を通して、たくさんの人に日本や世界の現状を知ってもらうことが重要です。そんなときに使われるのが税金です。税金は国民の義務であり、決して不法に使うことは許されず、無駄遣いになってしまします。では、今まで私が考えていた「大阪・関西万博は税金の無駄遣いだ」という考えは本当に正しかったのでしょうか。私は正しくなかったと思っています。なぜなら、私は万博は税金を無駄に使ったのではなく、これからの未来のために税金を使ったのだと思うからです。

現在、万博以外にもたくさんの方に税金が使われています。私はそれを頭ごなしに批判するのではなく、どうして税金が使われているのか、その理由を考えることが今の社会に必要なのだと思います。

私が万博で確かめたように、みなさんにも一度、税金の本当の意味をあなたの目で確かめてほしいです。